

- Mr. Carp Pyo Hong: Planning Officer, The Planned Parenthood Federation of Korea, Seoul
 年月日: 1968年12月18日
 用務: 日本の人口問題の研究状態の調査
 連絡機関: IPPF, 西太平洋地域事務局
- Dr. Lucien A. Gregg: The Rockefeller Foundation, Quezon City, Rizal, The Philippines
 年月日: 1968年12月18日
 用務: アジアの人口問題についての討議
 連絡機関: 国立公衆衛生院 (曾田長宗院長)

第41回日本社会学会大会

第41回日本社会学会大会は、昭和43年10月20・21日の両日、早稲田大学において開催された。一般研究報告は、基礎理論、集団・組織・リーダーシップ、社会心理・社会意識、家族、農・漁村、社会病理、社会学史、産業・労働、都市、地域、社会病理・社会福祉の12部会に分かれ、計40題の報告があった。

今年度はシンポジウムはなく、昨年度から設けられたテーマ部会として、「理論」部会「機能主義は社会変動を処理しうるか?」、 「家族」部会「役割構造の分析」、 「小集団」部会「小集団研究の新分野」、 「社会病理・社会福祉」部会「犯罪研究はどう集められてきたか、 どうあるべきか—その基本的解明」、 「地域」部会「地域再編成と住民の対応」、 「産業・労働」部会「産業合理化過程における地域産業と労働者の状態」、 「政治」部会「政治意識と投票行動」、 「マス・コミ」部会「マーケティング・コミュニケーションをめぐる2, 3の問題」の8部会において、それぞれ3, 4題ずつ計25題の報告があり、これをめぐって討論が行なわれた。

本研究所からは上田正夫 (人口政策部長)、 黒田俊夫 (人口移動部長)、 駒井 洋 (人口資質部資質科)、 柴田弘捷 (人口政策部政策科) の4技官が出席したが、一般報告のうち、人口に直接関係のあるものは次の2題にすぎなかった。

移動が地域人口の年齢構造と再生産に及ぼす影響……………上 田 正 夫

人口集積の構造と変動……………黒 田 俊 夫

(上田正夫記)

国際家族計画連盟1968年西太平洋地域会議

1968年10月15・16の両日、韓国のソウル市郊外にある Christian Academy House で、西太平洋地域の家族計画会議 (International Planned Parenthood Federation, Western Pacific Regional Training and Seminar) が開かれた。この会議に出席した国々は、韓国をはじめ台湾、香港、シンガポール、インド、琉球、日本で、他に特別にアフリカのケニア、ウガンダの代表も列席した。本研究所からも篠崎信男技官 (人口資質部長) がこれに参加した。

15日の朝から始まったこの会議は、型どおり韓国の厚生大臣のあいさつもあってはなばなしい幕開きであるが、会議のテーマは「基本的人権としての家族計画」 (Family Planning as a Fundamental Human Right) であり、第1の subject は Motivation, 第2は Administration and Organization で15日は終わり、翌16日は、第3として Methodology, そして最後は Evaluation である。合計18人 (日本、琉球、